



Active exchanges  
with city residents are  
enjoyed at farms.



### 村の特産 **フルーツ**

たとえば、葉が枯れ落ちるまで  
陽光を浴びながら、真っ赤に染まる  
北会津じまんのリンゴたち。  
うまみ志向時代の到来に先駆ける  
甘い蜜入りのおいしい味は、消費者との  
顔の見える農業の実践を通して育まれ、  
販路を自ら拓いてノウハウを蓄積してきました。  
ブドウやナシにも、そんな栽培暦を秘めています。

### 村の自慢 **農家の情報化**

農家と村役場が連携した自助努力のなかから  
ネットワークづくりを痛感して  
国の事業導入による情報機器を各農家に設置し、  
栽培技術と消費動向に関する  
全方位型情報の受発信を続けています。



### 村の都市型空間 **真宮新町**

北会津村は、全域が会津都市計画区域です。  
真宮地区の工業導入による  
農業地域の構造強化策は環境保全型。  
およそ8kmの阿賀川の水辺空間に沿う  
村の大地は会津の諸機能拠点創出の  
魅力に溢れています。

■1961(昭和36) 農業基本法公布。村の農業構造改善事業認定。■  
1966(昭和41) 農協カントリーエレベータ誕生。■1970(昭和45) 水  
稲の生産調整始まる。全村域が建設省の会津都市計画区域となる。■  
1971~87(昭和46~62) 農業者年金制度誕生。■1975~87(昭和50  
~62) 農村総合整備モデル事業。■1978(昭和53) 水田再編対策スタ  
ート。■1984(昭和59) 全村圃場整備事業完了。■1985(昭和60) 農  
村地域工業導入地域指定を受ける。翌年、真宮新町誕生。■1986~87  
(昭和61~62) 転作基盤合理化促進事業によりパイプハウス321棟設  
置。■1987(昭和62) 広域農道会津大橋開通。■1989(平成1) 核  
農家登録制度発足。■1991(平成3) 周年農業観光協会設立。■1992  
(平成4) フライト農業開始。■1993(平成5) パソコン、FAXを農家に  
設置。■1994(平成6) 認定農業者の選定始まる。■1995(平成7) 新  
食糧法施行。■1996(平成8) JAあいつ広域合併。